

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Mar.2016

3

No.665

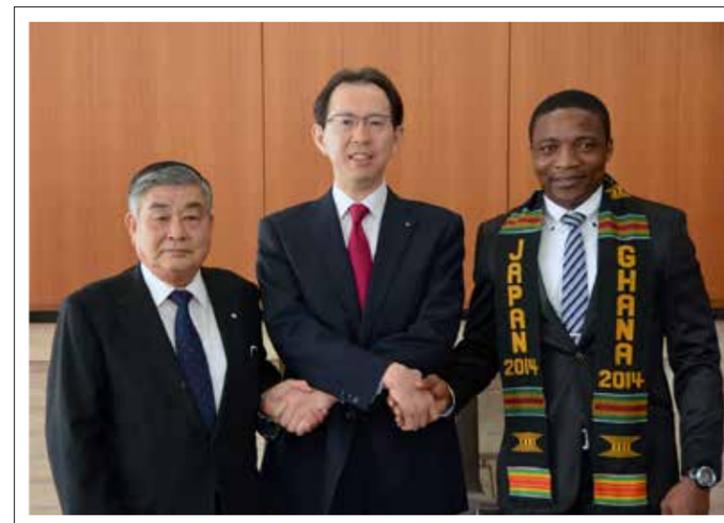
キヤンパニョー



Pick Up

今月のイベント

本町が東京オリンピック
パラリンピックの
ホストタウンに



内堀知事(中央)に報告し、握手を交わす前後町長(左)。右は同席したガーナ共和国出身で町外国語指導助手のフォーチュネイト・セイラム・アドゥクボさん

2020年東京オリンピック・パラリンピックに参加する海外の選手らと地域住民の交流を促進する政府の「ホストタウン」構想で、ガーナ共和国を相手国とする本町が登録されました。

ホストタウンは、自治体が事前キャンプの誘致や参加国・地域の選手や関係者との交流、文化を通じた交流を実施し、地域活性化や観光振興につなげることを目指す事業で、政府が費用の半額を補助する仕組みです。

25都道府県の44自治体が1月26日、第一次登録に決定され、本県からは本町とオランダを相手国とする郡山市の2市町が登録されました。

前後町長は1月28日、県庁を訪問し、ホストタウンに正式登録されたことを内堀雅雄知事に報告。「おもてなしの心を持って、全町民を挙げて取り組んでいく」との考えを示しました。

町は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機として、郷土の偉人、野口英世博士が黄熱病の研究で訪れた縁で交流のある、ガーナ共和国の人々と町民との絆を、より一層強めていきたいと考えています。

町議会議員 15人決まる

議長に長沼一夫氏
副議長に後藤公男氏

任期満了に伴う町議会議員選挙の開票が2月21日に行われ、即日開票により、15人の議員が決まりました。

今回の選挙は2月16日に告示され、15議席に対し、現職11人、新人3人、元職3人の合わせて17人が立候補。投票率は68・27%で、前回の70・15%を下回り過去最低となりました。当日の有権者数は1万2549人(男性5950人、女性6599人)。

当選証書の付与式は2月22日、町役場で行われ、小松山憲作町選挙管理委員会委員長が当選者に手渡しました。任期は3月1日から平成32年2月29日までの4年間です。

3月1日には初議会が開かれ、正副議長や常任委員など、議会の構成を決定しました。正副議長の選挙では、議員による投票の結果、議長に長沼一夫氏、副議長に後藤公男氏が選出されました。

議員の皆さんを紹介します(敬称略)。年齢は2月16日現在。①年齢②行政区③党派④当選回数。



星野あけみ

①45歳②上ノ上③公明党④1回



瀧田 勝昭

①58歳②八千代③無所属④1回



佐瀬 真

①62歳②八千代③無所属④2回



細貝 功人

①63歳②翁島駅前③無所属④2回



佐藤英一郎

①66歳②木地小屋③無所属④2回



大橋 清喜

①67歳②大在家③無所属④2回



渡辺 二公

①73歳②中町③無所属④2回



長澤 操

①65歳②沼尻駅前③無所属④3回



金本久美子

①68歳②神明町③無所属④3回



渡辺真一郎

①68歳②沼ノ倉③無所属④3回



五十嵐ミエ子

①69歳②東館③日本共産党④3回



佐藤 光幸

①62歳②金曲③無所属④6回



関沢 和人

①69歳②夷田③無所属④8回



後藤 公男

①63歳②荻窪③無所属④4回



長沼 一夫

①73歳②富永③無所属④6回

広報 猪苗代

Mar.2016
3
No.665



今月の表紙

雪下キャベツ収穫体験で、一生懸命キャベツを掘る子どもたちを横目に、ムシャムシャとキャベツをかじっていた深谷一嘉くん(3歳)。パパが作った、このあまーいキャベツが大好きで、いつも生で食べているのだとか(関連16ページ)。

【撮影日】1月30日
【撮影場所】夷田地区

Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 町議会議員 15人決まる
- 04 特集 10年先の未来を考える
- 12 野口英世博士顕彰記念町内小学校スキー大会／中高生がスキーで大活躍
- 14 まちのわだい
- 17 笑顔でこんにちは／スクールトピックス
- 18 いなわしろタウンページ
- 22 暮らしの情報広場
- 24 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

特集 10年先の未来を考える

まちづくり町民ワークショップ「いなわしろみらい会議」が昨年10月からことしの1月まで、4回にわたり開かれました。今月号では、会議でまとめた提案内容を紹介するとともに、町の未来について考えます

いなわしろみらい会議って何？

猪苗代町の未来をみんなで考えるまちづくり町民ワークショップ、それが「いなわしろみらい会議（以下みらい会議）」です。昨年の10月から1回目がスタートし、ことしの1月に最終となる4回目が終了しました。広報猪苗代11月号から1月号までに、各回の内容を「かわらばん」として連載しましたが、ご存知の人もいると思いますが、今月号では4回目の会議で提案された具体的なまちづくり事業を紹介します。

第七次振興計画を見据えて

町のさまざまな行政計画の中で最も上位に位置し、町の施策の柱となる計画が「猪苗代町振興計画（以下 振興計画）」です。振興計画は、10年後の町の将来像を描き、それを実現していくための過程を計画化したものです。皆さんの日常生活ではあまり出てくることがない言葉ですが、役場ではこの振興計画に沿って日々仕事をしているといつてもよいくらい重要な計画です。

現在は、平成19年度からはじまり、10年後の平成28年度、つまり来年度を目標とする第六次振興計画が進行中ですが、残り1年で計画期間を終了します。

とする町の姿を、みんなで考える場として企画されたのが「みらい会議」だったのです。

いろいろな世代が参加

昨年9月に参加者を公募したところ、町内外から29人の申し込みがありました。そこに猪苗代高校の生徒3人と役員職員6人が加わり、メンバーは合計38人になりました。地元の高校生という若い世代の声が聞けること。役員職員と一緒にまちづくりについて話し合いができること。この2つを特徴とし、男性28人、女性10人、年齢は16歳から68歳まで、老若男女が同じテーブルで話し合いをする会議がスタートしました。

第1回（10月15日開催）では、まず事務局である役場企画財務課から会議の趣旨説明が行われました。その後、参加者の自己紹介を兼ねて「猪苗代をこんな町にしたい」という思いを互いに発表しました。意見を参考に、参加者の共通する想いをテーマ分けして「官民協働のまちづくり」、「農業の6次産業化」、「新時代の観光」、「福祉のまちづくり」の4グループをつくりあげました。

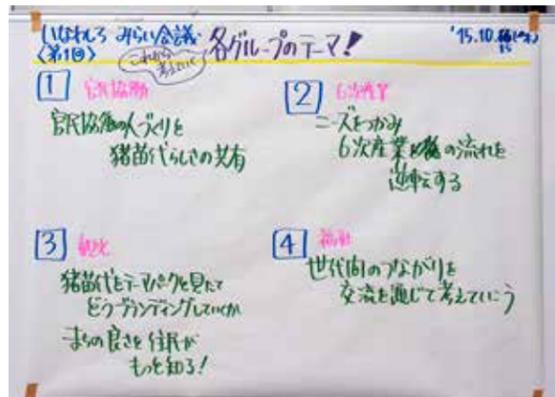


第2回（11月21日開催）では、朝から半日を使ってグループごとに気になる現場へ出かけ、町の現状を把握しました。町内のどこへ行くか、行程は各グループが決め、現地で昼食も一緒に食べました。参加者からは「知っているようで知らなかった町の現状に気付いた」

などの感想が出されました。その後現場で調査した事実をまとめる作業を行いました。第3回（12月10日開催）は、10年後の町の未来像を具体的に描くワークショップを行いました。テーマごとに、現状から何らかの手を打てば実現可能な未来像と、このまま何もしなければこうなってしまうという成り行きの未来像の2通りを考え、発表を行いました。

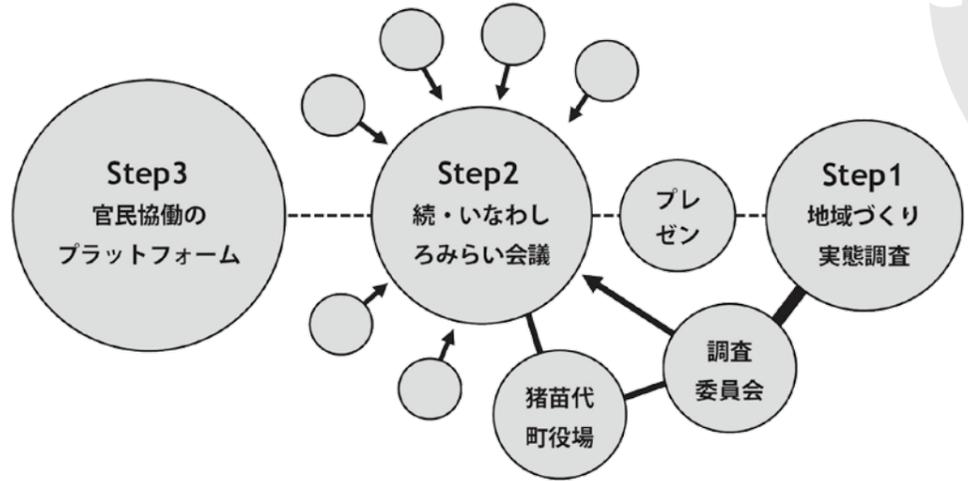
第4回（1月16日開催）では、住民主体の具体的なまちづくり事業を立案し、町長を前にして各グループが熱くプレゼンテーションをしました。次ページからは、各グループ代表のインタビューを交え、提案内容を紹介します。

第4回（1月16日開催）では、住民主体の具体的なまちづくり事業を立案し、町長を前にして各グループが熱くプレゼンテーションをしました。次ページからは、各グループ代表のインタビューを交え、提案内容を紹介します。



それでは、その先はどうするのでしようか。第六次振興計画の終了後は、平成29年度から先の10年間の計画として新たに第七次振興計画を策定することになります。この第七次振興計画を策定するにあたって、これまでの計画と同じように、町の将来像を描かなくてはなりません。町民の皆さんが望む町の将来像は、どのようなものなのか。皆さんの声や意見を収集する方法には、アンケート調査や意見箱などもあります。しかし、来年度から本格的に第七次振興計画の策定作業に入る前に、実際に皆さんの声を、意見を聞き、まちづくりのための話し合いをする必要があると考えました。理想10年後の町をどうしたいか。理想

「いなわしろみらい会議」はまだ続く!?
「LOVE♡いなわしろプロジェクト」



猪苗代には豊富な資源があり、さまざまな人々がいて、元気に活躍していることが分かりました。

官民協働のまちづくりを進めるには、そうした人々がゆるやかにつながり、互いに刺激しあったり協力しあったりできるネットワークづくりがカギになると考え、「LOVE♡いなわしろプロジェクト」を提案しました。

このプロジェクトは、まず行政にこの仕組みの構築を後押ししてもらい、地域づくり活動の実態調査やネットワーク組織の立ち上げ、誰もが集える拠点の開設など、一緒になって「猪苗代を愛する人々」をつなぎ、官民協働のプラットフォームをつくるというものです。

【INTERVIEW】



新明 哲也さん

【PROFILE】
本町在住。55歳。中央商店街で「新明家具」を営む傍ら、年代ごとの街並み地図を作成するなど、まちづくりに熱心な活動を展開

人口が減っても、みんなで知恵を出そう

みらい会議では、町の現状と町の未来のために何をすべきかということが明らかになりました。それらを踏まえ、近い将来には、政策的なNPOが誕生すれば素晴らしいと思います。

みらい会議のように、誰もが参加できる会議は、ある程度までいくと新しい意見が出なくなってしまう。

同じような形でこれからも続けていくのは難しいと思うので、今後は農業、観光、福祉など、それぞれの分野に詳しい人たちが集まって、町の将来について考えるのがいいと考えています。

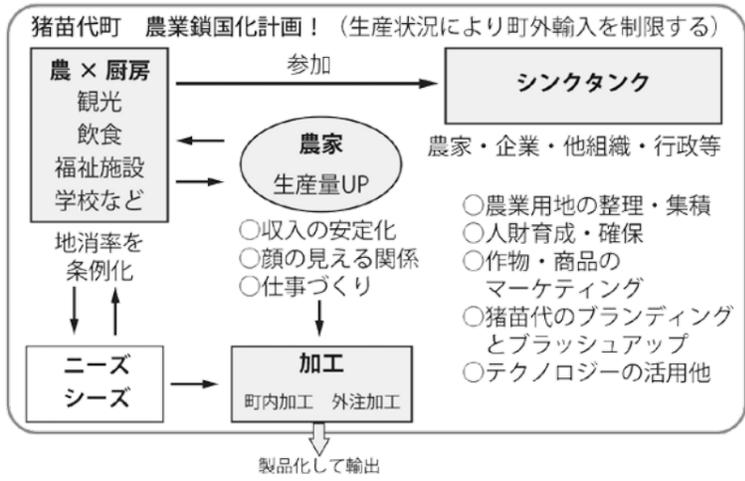
官民協働によるまちづくりを

より進めるためには、こういった民間のグループと行政との連携が鍵になります。NPOは、その橋渡し役になれるのではないのでしょうか。

「町をもっと良くするためにはどうすればいいのか」。そういうことをあれこれ考えたり、話し合ったりするのは楽しいものです。そのようなグループが町のあちこちに広がっていけば、猪苗代が元気になるのではないのでしょうか。

人口の減少に伴い、考え方で貧困になってはいけません。人は減っても、みんなで知恵を出しあっていきたいですね。

「農業鎖国化計画！」
他の産業と連携し、町内自給率を高め、
農業ポテンシャルを高める。



みらい会議を通じて、猪苗代の農業の特性が浮かび上がってきました。作物の生育期間が限られている、観光と兼業して生活が成り立ってきた、穀物以外に猪苗代の特産といったものはなく、町民が地元の農産物をどこで売っているかを知らず、町内自給率もわからない状態です。

「農業鎖国化計画」という過激なテーマになりましたが、観光、飲食、福祉施設や学校など、農と厨房をマッチングし、町内で消費することで農業を支え、ニーズを探る。6次化につながる仕組みを作り、農業の可能性を高めていく必要性が見えました。

まずは現場の農家や多産業・他組織と行政が連携した組織の立ち上げを検討することから始めます。

【INTERVIEW】



佐藤 弘一さん

【PROFILE】
高森在住。35歳。吾妻食品取締役営業部長。仕事のモットーは「食卓に笑顔届けたい」。猪苗代青年会議所理事長

町の未来のため、みんなで力を合わせる時期

みらい会議のように、まちづくりに対する意見を発表したり、町を客観視したりする場というのは、なかなかありません。県外から猪苗代に移り住んだ人の意見を聞いたことも、私にとって新鮮でした。きっと、メンバーの皆さんも「必ず今後につながる」と感じていると思います。

私たちのグループは、農業の6次化について考えました。いろいろな人の考えを聞くことによって、今の仕組みの悪い部分や今後はこうしていくべきという未来像も見えてきました。

会議では、グループごとに違うテーマに取り組みつつも、みんな考え方は似ていて、すべて

官民協働を掲げていました。観光については考えたグループのテーマは、「積極的に外へ売り込む」ということで、私たちの「鎖国化」と相反するように思われるかもしれませんが、共通する部分が多くありました。町の経済を効率的に回すという点も同じです。

目指すところはみんな同じ。終着点は町を良くすることです。いま、そのためにみんなで力を合わせなければならない時期にきていると思います。

会議は終了しましたが、人脈をつなぎ、ゆるく、楽しく、猪苗代の未来を語る場がこれからもあるといいですね。



町企画財務課
課長 齋藤 憲郎

第六次猪苗代町振興計画の期間が平成28年度で終了するため、次期振興計画を策定することになりました。

しかし、誰もが経験したことのない少子高齢化が急速に進行し、日本のほとんどの地域で人口減少が問題となっている中、従来のやり方だけでは十分な対策を立てることは難しい。個人の意見を直接聞くだけでなく、皆さんが意見を交わす中でよりよい方向性が見出せないものか、と考えました。

ワークショップの参加者は集まるのか、意見の取りまとめは可能かなど、不安だらけの参加者募集でしたが、ふたを開けてみれば、若い人から人生経験豊富な人まで、男女比も大きく偏らず町外出身の皆さんも参加するなど、理想的な構成になったと思います。

ワークショップで議論され取りまとめた内容は、広報などでお知らせしたとおりですが、その過程では、目で見、耳で聞いて、あるいは体験して、といった現地調査なども行われたのです。

4回の開催ではありましたが、皆さんの真摯な取り組みや話し合いから、それぞれが充実感を得ながら参加されていることが感じられました。

最後には、もっとワークショップを続けるべきという意見や言ったからには実践すべきではといった力強い発言がありました。猪苗代には、町の将来について真剣に考えている素晴らしい人たちが、まだまだたくさんいるということをあらためて実感しました。

憲政の神様と言われた尾崎行雄は「人生の本舞台は常に将来にあり」と言っています。猪苗代町の将来は、困難はあるにしても決して暗いものではない。今回の経験を通して、そう思いました。参加された皆さん、本当にありがとうございました。



3月3日、はじまりの美術館では、みらい会議のメンバーが中心となり、町民プレゼン大会の開催に向けた打ち合わせをしていました
和気あいあいとした雰囲気の中、メンバーたちがいきいきと意見を交わします
近い将来、このような場面が、町のいたるところで見られるかもしれません

続・いなわしろみらい
会議のはじまり

みらい会議のメンバーたちは、それぞれが町について熱く語り、活発に意見を交わし合っていました。メンバーたちが真剣に、かつ、楽しそうに取り組むその様子は「町の将来はきっと明るい」と思わせてくれました。

今回みらい会議に参加したメンバーは、町民約1万5千人のうち、ほんの一握りでしたが、多世代が集まり、官と民が協働で一つの目標に向って話し合ったことに、これからの可能性が見えました。

町内には「みらい会議」以外にも、まちづくりについて考える団体やグループが多くあります。

他分野の組織や個人が連携・協働してまちづくりを考える場が増えて、今よりもっと多くの人たちが町の未来を思い描き、実践するようになれば、この町は、今以上に魅力的な町になるはずです。

すでに、みらい会議メンバーの一部では、これから取り組みについて話し合いが持たれており、新たな動きが始まっています。「何事も楽しくなければ続かない」。

みらい会議を取材して、今回のように、真剣に、しかし楽しく取り組みながら続けていくことが、まちづくりを実践していくためには必要だと感じました。

特集「10年先の未来を考える」
終わり



前後公町長（左から2人目）らに大会での活躍を報告した伊藤さん（猪苗代中3年=同3人目）。右は同席した宇南山忠明校長



第68回県総合体育大会スキー競技の少年女子で3位入賞を果たした伊藤さんの滑り（1月19日、箕輪スキー場）

スキー大会で中高生が大活躍

スキーシーズンはもうすぐ終了しますが、今季も町内の中高生がスキー大会で大活躍しました。選手の皆さんの素晴らしい成績の一部を紹介します。

- ・第58回県中学校体育大会スキー競技大会（1月12日～15日）
 - ▶男子距離フリー ②青木剛（猪苗代中3年）③小鮎響暉（同1年）④鈴木康之（東中3年）⑤大槻太一（猪苗代中2年）⑧佐藤豪季（同2年）
 - ▶女子距離フリー ③井上香耶（猪苗代中3年）④土屋菜奈（同）⑥鈴木まどか（吾妻中3年）⑧星野陽色（猪苗代中2年）⑨佐藤袖衣（同）
 - ▶女子回転 ①伊藤睦（猪苗代中3年）②半澤ひなた（東中3年）④佐藤未来（猪苗代中1年）⑥小坂橋梨音（同）⑨渡部莉未（同2年）
 - ▶男子距離クラシカル ②青木剛 ③鈴木康之 ④佐藤豪季 ⑥小鮎響暉 ⑧大槻太一 ⑩蛭田彪芽（猪苗代中2年）
 - ▶女子距離クラシカル ③鈴木まどか ④井上香耶 ⑤土屋菜奈 ⑥星野陽色 ⑦佐藤袖衣
 - ▶女子大回転 ①半澤ひなた ②伊藤睦 ③佐藤未来 ⑤小坂橋梨音
 - ▶男子距離リレー ①猪苗代中
 - ▶女子距離リレー ②猪苗代中 ③吾妻中
- ・第52回東北中学校スキー大会（1月22日～24日、距離：秋田県仙北市、アルペン：宮城県大崎市）
 - ▶女子回転 ①伊藤睦 ⑩半澤ひなた
 - ▶男子距離リレー ⑦猪苗代中 ▶女子距離リレー ⑧猪苗代中

全日本スキー選手権フリースタイル競技のモーグルで前走を務めた、高久佳佐さん（猪苗代中3年）のエア（2月13日、リステルスキーファンタジア）



高久 佳佐さん

今回の貴重な経験を今後の大会に生かし、ベストな滑りをしたいです。高校でもモーグルを続けて今まで以上に努力し、遠藤尚選手のような、世界で活躍できる選手になりたいです。

- ・第61回県高校体育大会スキー大会（1月14日～16日）
 - ▶男子距離クラシカル ①鈴木蓮（会津工業高3年、東中卒）②増子勇次郎（猪苗代高1年）③阿部直希（会津工業高1年、猪苗代中卒）④星野一步（猪苗代高1年）⑤吉田廉（同2年）⑦波多野寛大（会津工業高1年、猪苗代中卒）⑧五十嵐涼一（猪苗代高2年）
 - ▶男子大回転 ①長谷部宏仁（猪苗代高2年）②高橋海里（同3年）
 - ▶女子大回転 ③本田蒼衣（猪苗代高1年）
 - ▶男子距離リレー ①猪苗代高
 - ▶男子距離フリー ①鈴木蓮②吉田廉③阿部直希⑤星野一步⑥波多野寛大⑦五十嵐涼一⑧増子勇次郎
 - ▶男子回転 ①高橋海里②長谷部宏仁
 - ▶女子大回転 ③本田蒼衣
- ・第53回全国中学校スキー大会（1月22日～24日、距離：秋田県仙北市、アルペン：宮城県大崎市）
 - ▶男子距離リレー ⑨福島県チーム（小鮎響暉、青木剛、鈴木康之、大槻太一）
 - ▶女子距離リレー ⑨福島県チーム（土屋菜奈、井上香耶、山内花（只見中）、鈴木奈美（只見中））
- 第38回東北高校スキー選手権大会（1月22日～24日、青森県大鰐町、アルペン競技は雪不足のため中止）
 - ▶男子距離リレー ⑩猪苗代高
- ・第65回全国高校総合体育大会（2月4日～8日、青森県大鰐町）
 - ▶複合 ⑨渡部大輝（猪苗代高3年）
 - ▶スペシャルジャンプ ⑩渡部大輝



1



2



3



4



5

1_女子距離リレーで熱戦を繰り広げる選手たち 2_昨年に続き女子大回転を制した寺林選手 3_男子距離リレーで2連覇を飾った千里小チーム（左から菅沼選手、鈴木選手、菊地選手）

4_女子距離リレーで優勝を果たした吾妻小チーム（左から菊地選手、鈴木選手、小椋選手） 5_男子大回転で昨年に続き優勝を飾った高野選手

各種目の入賞者は下記のとおりです（敬称略）。

【アルペン大回転競技】

- 小学5年男子 ①溝井陽向（猪苗代）38秒62 ②半澤勝将（長瀬）③國分希（緑）④郡可和歩（千里）⑤笠間瑛士郎（千里）⑥野口優気（翁島）⑦笠間堅社（千里）⑧大橋清陽（千里）⑨小坂橋綾杜（吾妻）⑩佐久間広太（千里）
- 小学6年男子 ①高野大地（猪苗代）38秒40 ②渡部峻太（猪苗代）③渡部夏寿貴（長瀬）④土屋成（緑）⑤渡部快翔（吾妻）⑥小林尚輝（猪苗代）⑦諏訪光（猪苗代）⑧小坂橋柁矢（吾妻）⑨野崎晃生（千里）⑩安部拓人（猪苗代）
- 小学5年女子 ①小坂橋梨夢（猪苗代）38秒60 ②渡部紗永（猪苗代）③小林優萌（猪苗代）④鈴木葵（長瀬）⑤薄田桜子（千里）⑥熊田あかね（猪苗代）⑦本田埜乃（千里）⑧鈴木七海（吾妻）⑨齋藤佑名（緑）⑩植松咲実（猪苗代）
- 小学6年女子 ①寺林結衣（千里）43秒15 ②福地愛美（長瀬）③山城有嘉（猪苗代）④二瓶衣留（吾妻）⑤櫻井悠衣（長瀬）⑥笠間彩（千里）⑦高橋凜（猪苗代）⑧渡部寧々（千里）⑨小坂橋夏子（猪苗代）⑩佐藤渚（千里）

【距離競技】

- 小学5年男子 ①安部拓海（緑）9分9秒0 ②菊地正汰（千

- 里）③渡部怜磨（緑）④大坂悠璃（長瀬）⑤野口皓大（翁島）⑥野口悠太（千里）⑦高橋世那（長瀬）⑧佐藤真央（長瀬）⑨遠藤太勇（長瀬）⑩渡部颯太（翁島）
- 小学6年男子 ①鈴木有人（千里）8分47秒4 ②遠藤皓介（猪苗代）③佐藤陽生（長瀬）④棚木大輔（長瀬）⑤増子勇輝士（吾妻）⑥菅沼万葉（千里）⑦服部立介（猪苗代）⑧安部源翔（緑）⑨大島丈（翁島）⑩吉野樹（緑）
- 小学5年女子 ①鈴木もえ（吾妻）9分28秒9 ②菊地羽音（吾妻）③小鮎萌加（千里）④小椋花音（翁島）⑤難波妃莉（長瀬）⑥鈴木沙羅（緑）⑦長峰沙弥（千里）⑧青木陽菜（翁島）⑨渡部菜々子（緑）⑩本多優音（猪苗代）
- 小学6年女子 ①横澤亜美（翁島）9分53秒4 ②長嶺歩美（長瀬）③六角光未（緑）④東條なな子（猪苗代）⑤大木みや（猪苗代）⑥小椋友恵（吾妻）⑦本多悠（長瀬）⑧鈴木こころ（猪苗代）⑨安部成美（緑）⑩渡部萌（吾妻）

【距離リレー】

- 男子 ①千里（菊地正汰、菅沼万葉、鈴木有人）25分1秒4 ②長瀬 ③緑 ④猪苗代 ⑤翁島 ⑥吾妻
- 女子 ①吾妻（小椋友恵、鈴木もえ、菊地羽音）27分7秒0 ②長瀬 ③緑 ④翁島 ⑤猪苗代 ⑥千里



前後町長に受章を報告した鈴木さん(右)

鈴木榮太郎さんに緑十字金章

町役場を訪れ、町長に受章の喜び報告

今年度の交通栄誉章緑十字金章を受けた猪苗代地区交通安全協会長の鈴木榮太郎さん(廻谷地)は1月22日、町役場を訪れ、前後公町長に受章を報告しました。鈴木さんは「皆さんの支えのおかげで、大変栄誉ある章を頂くことができました。これからも地域の安全のために尽力していきたい」と話しました。鈴木さんは、昭和58年に猪苗代地区交通安全協会に入会。平成23年に会長に就き、地域の交通安全活動に尽力しています。

子どもから大人まで熱戦展開

「スノードリーム2016」猪苗代綱引大会

「スノードリーム2016」猪苗代綱引大会は2月28日、カメリーナで開かれました。一般男子、一般男女混合とジュニアの3部門に町内外から合計18チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

主な成績は次のとおりです。【一般男子】①佐原つ子お助け隊②TOM'S③アクアクルー【一般男女混合】①若宮会②ちびたんパワーズ③チームドリーム【ジュニア】①ちびたんスピリッツ1②湯川男子ソフトスポ少③猪苗代ソフト部C



競技に挑む猪苗代スポ少ソフトボール部の部員たち



報告に訪れた菅井教諭(右から2人目)と渡部校長(右)

体育指導などの功績たたえる

緑小の菅井明人教諭に県教委「優秀教職員表彰」

県教育委員会の本年度教育・文化関係表彰で「優秀教職員表彰」を受けた緑小の菅井明人教諭は2月15日、渡部祐司校長と共に町役場を訪れ、前後公町長らに受賞を報告しました。この表彰は、菅井教諭がこれまでの勤務校で体育の授業や課外活動に熱心に取り組む、陸上やクロスカントリースキーなどで素晴らしい成績を残していることなどが認められたものです。菅井教諭は「皆さんの支えのおかげ。大変光栄です」と感謝を述べました。

冬山遭難の救助技術を学ぶ

猪苗代地区山岳遭難対策協議会が救助訓練

町山岳会、警察署や消防署などで組織する猪苗代地区山岳遭難対策協議会は1月29日、裏磐梯スキー場などで冬山遭難救助訓練を実施し、万一の事故に備えました。訓練には、同協議会の会員26人が参加。雪崩に巻き込まれた人の捜索、救助訓練やスノーシューを履いての歩行訓練などに取り組みました。参加者らは、救助技術や知識の向上のため、真剣な表情で訓練に取り組み、冬山の遭難事故防止に向けて決意を新たにしました。



雪に埋まった人の救助訓練に取り組む参加者



写真上_東北フラワージェットのイメージ図。中央下の丸囲みが亀ヶ城公園のサギソウ、左下が長照寺のハス
写真左_前後町長(左)に額入りのイメージ図を手渡す野口さん(中央)。右は箭内さん

猪苗代の花が大空へ

東北フラワージェットが5月に就航

本町出身の写真家、野口勝宏さんが撮影した花の写真をあしらった全日空の特別機「東北フラワージェット」が5月14日、伊丹-福島空港間で就航することが決まりました。

ANAグループが取り組む復興支援活動の一環で、機体には東北6県に咲く17種類の花々があしらわれています。このうち猪苗代の花が2種類使われており、町の花「サギソウ」と長照寺(三城瀧)の「ハス」が機体を彩ります。

野口さんとANAエアサービス福島空港サービス部の箭内聡部長は2月10日、町役場を訪れ、前後公町長に特別機の就航を報告。野口さんは「きれいな花を探しに、少しでも多くの人に猪苗代へ足を運んでほしい」と話し、前後町長にイメージ図を贈呈しました。前後町長は「町の活性化や観光客の誘客につなげたい」と感謝を述べました。

寄贈された東北フラワージェットのイメージ図は、町役場1階の町民ホールに展示してありますので、来庁の際にはぜひご覧ください。

交通死亡事故ゼロ500日達成

本町に会津地方交通対策協議会長表彰

本町は2月10日で交通死亡事故ゼロ500日を達成し、会津地方交通対策協議会長表彰を受けました。表彰の授与式は同日、町役場で行われ、同協議会長の鏡敬文県会津地方振興局長が、町交通対策協議会長の前後公町長に表彰状を手渡しました。授与式では、峯岸正行猪苗代警察署長らが祝辞を述べ、前後町長が「交通死亡事故ゼロを長く継続できるよう、町民一丸となって交通安全に取り組んでいきたい」と謝辞を述べました。



鏡局長から表彰状を受ける前後町長(右)



表彰式に出席した大川原久夫副町長(左から2人目)ら

鳥獣被害軽減の功績が認められる

町が自治体初の農水省農村振興局長賞を受賞

鳥獣被害対策優良活動表彰式は2月12日、東京都日比谷図書文化館で行われ、町が自治体では初となる農林水産省農村振興局長賞を受賞しました。この表彰は、鳥獣被害防止に取り組み、地域への貢献が顕著であると認められる個人や団体を表彰するもので、今回の受賞は、町が平成22年度から鳥獣被害対策に嘱託員を配置し、地域住民と協力して被害対策に取り組み、鳥獣被害の軽減につながったことが高く評価されたものです。



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

「やさしくて、マナーを守れるしっかりした人になってほしいですね」。パパとママは、凧太郎くんをやさしく見つめながら、そう話します。

中野 凧太郎 くん

平成 26 年 12 月生まれ
～道下
晃士郎さん・楓さん夫婦の長男

最近、名前を呼ぶと「はい」と手を挙げてくれるようになったという凧太郎くん。大好きなお姉ちゃんの後をいつもついて回り、人形を乗せたベビーカーを押したり、一緒にままごとをしたりして遊んでいます。3つ年上のお姉ちゃん、愛徠ちゃんも凧太郎くんのことが大好きで、ごはんをあげたり、歯磨きしてあげたりと、よく面倒を見てくれるのだとか。ほぼ毎週、2人を連れてスキー場に行くというママの楓さんは「今は凧太郎を抱っこして滑りますが、来年はデビューさせたい」とにっこり。パパの晃士郎さんは「大きくなったら、できれば野球をやってほしい。スポーツを通して、礼儀や上下関係を学んでほしいですね」と凧太郎くんをやさしく見つめました。 ※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62)2111

スクールトピックス

雪だるま親善大使が沖縄を訪問



猪苗代の雪で雪遊びを楽しむ百名小の児童。沖縄ではめったに見ることのない雪にみんな大はしゃぎ



百名小の児童に雪だるまと赤べこなどを贈った古川さん(右から2人目)と小川さん(右)

百名小のみんなが雪を見た時、とてもはしゃいでいたのでびっくりしました。

給食の時間に、百名小のみんなといろいろ話せて楽しかったです。



雪だるま親善大使を務めた、小川さん(左)と古川さん

本県と沖縄県との交流の懸け橋を担う「雪だるま親善大使」に選ばれた、猪苗代小の小川信さん(6年)と古川菜月さん(同)が2月4日から6日にかけて、沖縄県を訪問しました。5日には、南城市の百名小を訪れ、猪苗代の雪で作った雪だるまや猪苗代小児童のメッセージを贈るなどして交流を深めました。この事業は、2002年から実施している本県と沖縄県の交流事業の一環で、ことし1月には百名小の児童2人が「さとうきび親善大使」として猪苗代小を訪れています。



親子連れなどが収穫の喜び味わう

「猪苗代キャベツ研究会」の雪下キャベツ収穫体験



子どもたちのうれしそうな顔に、メンバーの顔もほころぶ

町内の親子連れなど約20人は1月30日、夷田地区の畑で雪下キャベツの収穫を体験しました。JAあいづ(現JAあいづよつば)青年連盟猪苗代地区の有志でつくる「猪苗代キャベツ研究会」が主催し、同会のメンバー、深谷知広さんの畑で実施。参加した子どもたちは、メンバーや保護者に手伝ってもらいながら、一生懸命雪の下からキャベツを掘り出していました。同日は、同会が主催する農業体験ツアーの参加者も収穫を体験しました。

英語指導力向上の功績たたえる

東中の渡部真喜子教諭に県教委「優秀教職員表彰」

本年度の文部科学大臣優秀教職員表彰を受けた東中学校の渡部真喜子教諭は1月29日、前後公町長らに受賞を報告しました。この表彰は、渡部教諭が平成24年度から26年度まで「英語指導力向上事業」拠点校の担当者として、授業公開などを通して県内の教員に還元し、同事業の推進に寄与した功績などが認められたものです。渡部教諭は「町のおかげで教員としても成長できた。今後も英語教育の充実に尽力していきたい」と話しました。



前後町長(左)らに受賞を報告した渡部教諭(中央)

雪上で練り広げられる熱い戦い

磐梯南ヶ丘牧場で雪上MTBレース



自転車に乗ったり、押したり、思い思いにコースを疾走

マウンテンバイクの雪上耐久レース「冬のジン」は2月14日、磐梯南ヶ丘牧場で開かれ、選手たちが雪上で熱いレースを練り広げました。男子A、男子B、レディース、ジュニア、ガールズの5部門に合わせて約50人が参加し、1時間の周回数を競いました。当日は気温が高く、参加者はゆるんだ雪に大苦戦。雪解けで地面が露出している場所もあり、選手たちが泥だらけになりながらも時折白い歯を見せ、楽しそうにコースを駆け抜けました。

万が一の事態に備えるため

町職員らが普通救命講習を受講

町は昨年12月からことし1月にかけて、町役場で普通救命講習を実施しました。職員、嘱託員など約240人が6回に分けて受講し、心肺蘇生法のやり方、AEDの使い方などについて理解を深めました。受講した職員らは、万が一の事態に備えようと、講師の話に真剣に耳を傾け、実技講習に熱心に取り組んでいました。町では、消防本部の応急手当推進事業所として職員の救命技能を維持するため、定期的に普通救命講習を実施しています。



真剣に講習を受ける町職員ら

保健

高齢者肺炎球菌の予防接種はお済みですか？

本年度対象の人の接種助成は3月で終了しました。まだ接種を受けていない人は、急いで接種を受けてください。

▼対象者
本年度は次の生年月日の人で今まで一度も接種を受けたことのない人が助成の対象です。

年齢	生年月日
65歳	昭和25年4月2日～ 昭和26年4月1日
70歳	昭和20年4月2日～ 昭和21年4月1日
75歳	昭和15年4月2日～ 昭和16年4月1日
80歳	昭和10年4月2日～ 昭和11年4月1日
85歳	昭和5年4月2日～ 昭和6年4月1日
90歳	大正14年4月2日～ 大正15年4月1日
95歳	大正9年4月2日～ 大正10年4月1日
100歳	大正4年4月2日～ 大正5年4月1日

▼料金 無料
▼助成期間 28年3月31日まで

の紹介

▼問い合わせ先

商工観光課 商工観光係
☎(62) 2117

「もしも」の交通事故に備えましょう

平成28年度の町民交通傷害保険の受け付けが始まります。加入を希望する人は、申込書に記入の上、保険料を添えてお申し込みください。詳しい内容は「広報猪苗代(3月号)」と一緒に配布されたパンフレットをご覧ください。

▼対象者

猪苗代町に住民登録している人および東日本大震災における原子力発電所の事故による災害の影響により避難している人で「届出避難場所証明書(避難先が猪苗代町であることの証明)」を受けられる人

▼受付開始日 3月16日(水)

▼保険料 1人1口360円(2口まで加入できます)

▼保険期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

▼その他 加入の際、他保険の加入状況についての告知義務があります。

▼申し込み・問い合わせ先

町民生活課 町民係
☎(62) 2114

▼予診票

町内の医療機関に置いてあります。町外の医療機関で接種を希望する人は保健福祉課窓口にお越しください。

▼その他
助成を受けられるのは1人1回です。今回接種を受けた人は、今後助成を受けられません。

▼問い合わせ先
保健福祉課 健康づくり係
☎(62) 2115

3・4歳児は日本脳炎の予防接種を忘れずに

日本脳炎予防接種の標準開始年齢は3歳です。子どもが3歳になったら、早めに接種を受けさせましょう(3歳未満の接種はできるだけ避けてください)。本年度4歳で、まだ1度も接種を受けていない子どもには、すみやかに接種を受けさせてください。

▼接種料金 町が負担します。

▼接種方法

医療機関で個別に接種を受けてください。

※最近転入したばかりなどで対象となる子どもがいる人は、保健福祉課まで連絡してください。

▼問い合わせ先

保健福祉課 健康づくり係
☎(62) 2115

注意

山菜を採取・出荷する際の注意点

山菜を採取・出荷する際には、次の点にご注意ください。
▼現在も猪苗代町では、「こしあぶら」「たらのめ」「ねまがりたけ」「野生きのこ」が出荷制限となっています。

出荷が制限されている品目は、検査の結果、食品中の放射性セシウムが基準値(1キあたり100ベクレル)を下回っていない場合でも出荷することはできません。また、出荷制限されている品目は、加工用原材料として使用することもできません。

▼野生の山菜を出荷・販売する人は、事前に山菜の生産者台帳への登録が必要です。県のモニタリング検査を受けて、安全が確認された品目のみ出荷・販売が可能です。詳しくはお問い合わせください。
▼自家消費用の山菜については、町地域農業活性化センター(アグリいな)で放射性物質の検査を行っています。

▼有毒植物による食中毒防止のため、知らない山菜は採取した

ため、知らない山菜は採取した

募集

町勤労者互助会の会員を募集

猪苗代町勤労者互助会は、町内の事業所で働く勤労者の皆さんの生活安定と労働福祉の向上、福利厚生増進などを図る組織です。

月々700円の掛金で幅広い慶事に給付できる共済で、加入請求手続きが簡単なのが特徴です。詳しくはお問い合わせください。

▼加入できる人

・町内の事業所に勤務する従業員および事業主
・町内居住者で、町外の事業所に勤務する人

※労働組合加入者・臨時職員・パートタイマー・その他これに準ずる人は加入できません。

▼新規加入対象年齢

15歳～70歳

▼主な共済内容

・給付金による福利厚生(結婚祝金、出生祝金、傷病見舞金、住宅災害金など)
・施設入場券の会員価格での販売、パーティーなどのレクリエーション事業
・福島県の労働者支援融資制度

検査

今年「はかり」の定期検査の年です

ことしは、特定計量器定期検査の実施年です。商店、工場、宅配便、事業所および官公庁などで取引や証明に使用する「はかり」は、計量法により2年に1回の定期検査が義務付けられています(検査には手数料がかかります)。

前回検査を受けた事業所・管理者には、事前に町から連絡します。新たに検査が必要な人は3月25日(金)までに商工観光課に連絡をお願いします。

▼対象者
取引または証明のために「はかり」を使用している人

▼実施時期

・所在場所検査(計量器の設置

ごみ

4月の粗大ごみの受付時間を変更します

旧町衛生センターで受け入れしている粗大ごみについて、日曜日午前の受け付けおよび搬入が大変混み合うことが予想されるため、4月10日(日)の受付時間を次のとおり変更します。なお、午後の受け付けが比較的空きますので、午後の搬入をお勧めします。

5月の粗大ごみ受付時間は通常どおりとなりますので、ご注意ください。

▼変更後の受付時間

・午前 8時45分～11時30分
・午後 1時15分～4時

▼問い合わせ先

町民生活課 環境係
☎(62) 2114

ここから下は広告欄です。お問い合わせは直接広告主をお願いします

新築 猪苗代町川桁【全9区画】☆☆☆自由設計☆☆☆

<モデルハウス完成>

※当社指定の建築業者とさせていただきます。

《A～I区画土地面積》
205.00㎡～226.19㎡
(62.01坪～68.42坪)

お気軽にお問い合わせ下さい。

◎売主に付き仲介手数料はかかりません。

—土地から住まい創りまで—
株式会社 **ダイエーホーム**
〒024-933-1171
福島県知事(6)第1521号 郡山市亀田1丁目48番11号(サンスカイビル1F)

0800-800-1172
E-mail: info@daie-home.com
http://www.daie-home.com

●日曜・祝日営業 ●定休(水曜日)



公売

ホイールローダを公売します



町所有のホイールローダ1台を公売します。車種および公売方法は、左記の通りです。

- ▼公売物件
 - ・種別 ホイールローダ0.9m級(TCM L9-2)
 - ・年式 平成19年式
 - ・稼働時間 9,329時間
- (平成28年2月16日現在)
- ▼公売方法
 - 現車を展示し、その後入札により最低売却価格以上の最高入札額者と売買契約を締結。代金入金確認後に受け渡し。

- ▼展示期間・場所
 - 3月14日(月)～25日(金)
 - 午前9時～午後4時
- 町優良堆肥製造施設
- ※町ホームページに車両の詳細および写真を掲載していますのでご覧ください。

- ▼入札申し込み期間
 - 3月14日(月)～25日(金)
 - 午前9時～午後4時
- ※FAX、郵送可
- ※購入を希望する人は、必ず申込書を提出してください。

意見箱

皆さんの建設的なご意見をお寄せください

町は、町民の皆さんとの協働によるまちづくりを進めるため、ご意見やご提案をお寄せいただく「町民意見箱」「ご意見箱」を設置しています。

より良いまちづくりのため、皆さんの建設的なご意見をお寄せください。

▼設置場所

役場庁舎、カメリーナ、学びいな、和みいな(郵送やFAXでも受け付けます)

▼回答方法

広報猪苗代で回答します。
▼記入にあたってのお願い
・ご意見は内容の趣旨がわかるように、具体的に記入いただくようお願いいたします。

・他人を誹謗、中傷するものや営業、宗教、政治活動などに関するものはご遠慮ください。
・氏名、住所および連絡先をご記入ください。

※頂いたご意見の内容によっては、確認のためご連絡させていただきます。ご了承ください。なお、広報で回答する際には、氏名を伏せて掲

※入札参加申込書の様式は、農林課窓口および町ホームページにあります。

- ▼入札日時・場所
 - 3月28日(月) 午前10時
 - 町役場3階 正庁B
 - ※時間厳守・郵送不可
- ▼問い合わせ先
 - 農林課 堆肥施設係
 - ☎(62)2116(農林課)
 - ☎(85)8810(施設)

閲覧縦覧

固定資産課税台帳などの閲覧と縦覧

28年度の固定資産課税台帳の閲覧を実施します

- ▼閲覧期間
 - 4月1日(金)～5月2日(月)
 - (ただし土・日・祝日は除きます)
- ▼閲覧時間
 - 午前8時30分～午後5時15分
- ▼閲覧場所
 - 町役場 税務課内(1階)
- ▼その他
 - ①閲覧の際には本人確認のため身分証明書(運転免許証など)および印鑑(認印)が必要です。
 - ②代理人(本人および同居の家族以外)の場合は、委任状と代

相談

行政相談委員に相談してみませんか

行政相談委員が役所(国、県、市町村)や特殊法人(NTT、JRなど)の仕事についての相談に応じ、その解決のお手伝いをします。

定例相談は毎月1回、第3水曜日開催しています。お気軽にご相談ください。

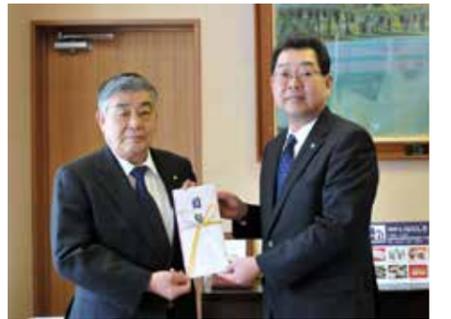
- ▼開催日時
 - 3月16日(水)、4月20日(水)
 - 午後1時～午後3時
- ▼場所
 - 町役場3階 日本間
- ▼その他
 - 相談無料・秘密厳守
- ▼問い合わせ先
 - 総務課 秘書広報係
 - ☎(62)2111

人権擁護・行政相談委員合同相談会

町では、次の日程で人権擁護委員と行政相談委員の合同相談

善意をありがとうございます

- LED防犯灯 10基
- 東北電力会津若松支社



「明るいまちづくりに役立ててほしい」と前後公町長に目録を手渡す、東北電力会津若松支社の千葉正宏支社長(右)

- 野口英世博士のふるさと猪苗代応援寄付金
 - 中原 剛さん(大阪府) 100,000円
 - 佐野 健一さん(兵庫県) 30,000円
 - 山中 草平さん(千葉県) 50,000円

理人の身分証明書(運転免許証など)をご持参ください。
③閲覧期間中は、納税義務者本人の固定資産課税台帳の閲覧や名寄帳の写し(コピー)の交付を無料で受けられます。

土地および家屋価格等縦覧帳簿の縦覧を実施します
町内に土地または家屋を所有し固定資産税を納税している人は、それぞれ町内の他の土地や家屋の価格などについて、土地価格等縦覧帳簿や家屋価格等縦覧帳簿で縦覧することができま(ただし、個人情報保護のため所有者名、納税義務者名は記載しておりません)。

- ▼縦覧期間、時間、場所
 - 課税台帳の閲覧と同じ
 - ▼縦覧できる人
 - 町内に所有する土地または家屋がある納税者
 - ▼その他
 - ①縦覧の際には本人確認のため身分証明書(運転免許証など)および印鑑(認印)が必要です。
 - ②縦覧を希望する土地・家屋の所在地番が必要です(所有者名、納税義務者名による申し込みはできません)。
 - ③縦覧帳簿のコピーなどの交付はできませんので、あらかじめご了承ください。
- ▼問い合わせ先
 - 税務課 賦課係
 - ☎(62)2113

掲示板

告示

- ・第7号「公売予告通知にかか
- る公示送達」(税務課収納係)
- ・第8号「猪苗代町議会臨時会
- の招集」(総務課行政管理係)
- ・第9号「猪苗代町議会定例会
- の招集」(総務課行政管理係)
- ・第10号「国民健康保険被保険
- 者証再交付に係る無効告示」(町
- 民生課国保年金係)
- ・第11号「指定緊急避難場所及
- び指定避難所の指定」(総務課
- 行政管理係)

公告

・第3号「農用地利用集積計画の公告」(農業委員会事務局農

有料広告募集中

町は、「広報猪苗代」に掲載する有料広告を募集しています。事業所の宣伝、広告などにご活用ください。手続きや料金など、詳しくは下記にお問い合わせください。
●問い合わせ先 総務課秘書広報係 ☎(62)2111

- 地係)
 - ・第4号「あいづ農業協同組合の農地利用集積円滑化事業規程の廃止」(農林課農業振興係)
 - ・第5号「会津いいで農業協同組合の農地利用集積円滑化事業規程の承認」(農林課農業振興係)

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

みんなの美術館

3月は長瀬小学校のお友達の作品です

Our Museum



書道「希望の朝」

全体のバランスを良くするため、「望」が大きくなりすぎないように気を付けました。上手に書けたのは「希」で、特に最後のはらいがきれいに書けました。これからも練習を重ねて、もっと上手に書けるように頑張りたいです。



本多 悠^{ゆう}さん (6年)



半澤かなな^{かなな}さん(1年)

「よるの町」

適当にちぎった紙を組み合わせて作りました。一番のお気に入りは飛行機です。最初は魚にしようと思ったけど、別の紙を合わせてみたら飛行機になりました。流れ星もうまくできました。



食生活改善推進員コーナー

～生活習慣病予防メニュー～

No. 225

肉団子と春野菜の煮物

(高血圧予防メニュー)



■一口メモ■

煮物を作るときは、だしのうまみを生かすことでしょうゆや塩などの調味料を控えることができ、減塩につながります。

【材料】4人分

鶏ひき肉 200g²・れんこん 1/3 個・長ねぎ 1/3 本・新玉ねぎ 小2個・にんじん 2/3 本・しめじ 1パック・絹さや 8本・おろししょうが 小さじ2・ごま油 大さじ1・A (かつおだし 2カップ・塩 小さじ1/2・しょうゆ 小さじ2・酒 大さじ1・みりん 大さじ2)

【作り方】

- ① 皮をむいて酢水につけたれんこんは、3/4をすりおろし、残りはみじん切りにする。長ねぎもみじん切りにする。
- ② 新玉ねぎは4等分にし、にんじんは一口大の乱切りにする。根元を落としたしめじは小房に分ける。
- ③ ボウルに鶏ひき肉、①、おろししょうが、ごま油を入れてよく混ぜ合わせ、粘りが出たら一口大の肉団子を作る。
- ④ Aを入れた鍋を火にかけ、沸騰したら③を入れる。火が通ったら②を加えて軟らかくなるまで煮る。器に盛り付け、ゆでた絹さやを添えて出来上がり。

【1人当たりの栄養量】

エネルギー 197kcal²、塩分 1.1g²